

「トランプは正しかった」：CNN 代表者がバイデンのウソを認める

CNN の Jake Tapper が、ウクライナや中国で富を築いたハンターについて、ウソをついたバイデンを告発

<https://www.infowars.com/posts/trump-was-right-cnns-jake-tapper-admits-biden-lied-about-hunter-making-fortune-in-ukraine-china-moscow/>

Zero Hedge/ Infowars

August 19, 2023

⇒フェイク・ニュースの代表者であるこの人物が、180 度見解を変えて、真実を認めた。彼は過去において、こうした主張を否定し、強くバイデンを弁護していた。

奇妙に論調を変えた、CNN のジェイク・タッパーは、前大統領ドナルド・トランプが、2020 年の大統領討論会で、ハンター・バイデンが「ウクライナ、中国、モスクワで大きな富を築いた」と言ったとき、トランプが正しく、ジョー・バイデンは間違っていたことを、ついに認めた。

ワシントン・ポストの Glenn Kessler (!?) からのファクト・チェックを引用しながら、タッパーは言った：——「ハンター・バイデンは 7 月に法廷で、自分は実は中国の会社から高額の支払いを受けたと認め、ハンターの報告では、2017 年には 2,400 万ドル近い収入と、2018 年には 2,200 万の収入があり、そのほとんどは中国またはウクライナの利子によるものだった。しかしこれらは、ジョー・バイデンが、ドナルド・トランプとの 2020 年の討論で言ったことに、真っ向から反するものだ。」

CNN のジャック・タッパー：「トランプが正しく、バイデンが間違っていた。」

<https://twitter.com/i/status/1692608005307850897>

[訳者注] ここに開いた大きな穴を通じて、すべてのウソの壁が決壊することを私は願っている。大ウソがもち応えられず、こんなことが起こることは誰にも予想できた。だから私は、主流メディアの記者の方々に、どこまでも CIA によるウソを通すならば、そ

れは自分の良心も名誉も傷つけるだけでなく、国民の総スカンを食って、収入さえ失うだろうとずっと前から警告してきた。

バイデンのイヤピース抜き忘れ事故：日本や韓国の指導者との握手を忘れる

<https://www.infowars.com/posts/unplugged-biden-suffers-earpiece-fail-snubs-handshake-with-japan-south-korea-leaders/>

Sputnik/ Infowars

August 19, 2023、

ジョー・バイデン大統領は、金曜日、キャンプ・デーヴィドでの、韓国と日本の指導者との歴史的合意を喜んだかもしれない。しかしこの3国会議が終わったとき、いくつかの事故が記者会談で起こった。

これはほとんどいつものことだが、ジョー・バイデンが公的なスピーチを行うと、決まっていたかなりの失敗をやらかすことになっている。<https://sputnikglobe.com/20230808/biden-claims-grand-canyon-one-of-nine-wonders-of-the-world-in-newest-slip-up-1112472736.html> アメリカ大統領は、メリーランドのキャンプ・デーヴィドでの、この最新のスピーチでもそれをやった。

日本の岸田文雄首相と韓国の尹大統領を両脇にして、ジョー・バイデンは、合同軍事演習と情報共有の3国条約に署名をしたところだった。ところが80歳の米大統領のこのスピーチは、非礼と問題発言に満ちていた。

社会メディアのビデオに見られるように、2024年の再選を狙うこの民主党候補は、ほぼこう言った：——

- * 「アメリカ・ファースト」の政策はアメリカを弱体化した
- * 日本の首相を、「日本の大統領」と言い間違え通した
- * 自分のイヤピースをはずし忘れた
- * 誰とも握手することなく大股で歩き去り、岸田と尹は拍手しながら、その後ろ姿をにやにや笑って見送った

バイデンは「記者会見」の後、自分のイヤピースを抜き忘れ、2人の国家指導者との握手もせずに歩き去った。

記者会見のある時点で、アジア諸国は核の傘の「保護」を受けるのかという質問に、バイデンはドナルド・トランプについて応えた：――

「外交政策について、私は先任者と話が合うことはほとんどない。彼の〈アメリカ・ファースト〉政策は世界の残りの人々を見捨てるもので、我々を弱めるだけで、強くすることはない。」

この発言について、保守派の社会メディアが大統領の真意を見定めるのに、だいぶ時間がかかった。多くのコメントが、「我々自身の国を優先するのは、我々を〈弱める〉ことになる」というバイデン発言を嘲笑している。

バイデンの〈アメリカ・ファースト〉政策が、我々をすごく幸福にしたと言うのか??

またこの同じとき、ジョー・バイデンは、自分の横に立っている日本の首相が大統領だと思っていた。

アナウンサー：「皆様に申し上げます、日本の首相です。」

バイデン：「大統領だ。」

スピーチを終わった後、ジョー・バイデンは、まだイヤピースをしたまま、振り向いて歩き始め、それが演壇に落ちて初めて気が付いた。振り返ってそれをさらえたとき、彼は微笑んで適当なことをしゃべった、「我々はすべての競争に勝つのだ。」ステージから離れながら、彼は他のスピーカーの誰とも握手をせず、出て行った。

社会メディアのコメントは、「きまり悪い」embarrassingの一語にあふれていた。

[訳者注]：これにはいくつかの隠れた問題がある。アメリカの社会メディアは、韓国と日本から来た国家指導者に対して、無礼を詫げるのに手いっぱいだったのであろう。彼らはおそらく我々に気遣って、日韓が自ら進んで「宗主国」と認める、アメリカへの滑稽な態度については、問題にしなかったと思われる。(このCNNによる、どんでん返し記事が示唆するように) ジョー・バイデンは現在、歴然たる米犯罪大国の中心人物であ

る。我々にとって「きまりが悪い」のは、このような者を絶対的に信じ、世界が今どう動いているかを全く見ようとしない、日韓両国の指導者に対してである。

ゼレンスキーはウクライナにとって「危険人物」——前宇 大統領補佐官

<https://www.rt.com/russia/581528-zelensky-ukraine-dangerous-soskin/>

August 20, 2023

RT



大統領は我々の国家を導く仕事には就いていない——Oleg Soskin 前補佐官

ウラジミール・ゼレンスキーの「不適切な」指導は、ウクライナに国家的破局をもたらした。したがって議員たちは彼の責任を問うべきだ、とこれまで2人のウクライナ大統領に仕えた補佐官オレグ・ソスキンは言った。

この国の経済はロシアとの戦争によって「破壊された」と彼は、日曜日、ユーチューブの彼のチャンネルに投稿したビデオで言った。

ウクライナ軍の前線に「突破口は全くどこにもない」と、ソスキンは続け、キエフの軍事的好転について話す「退役大佐たちを、大衆は信じてはならない」とつけ加えた。

ウクライナはロシアを敗退させるだろうという、ゼレンスキーの主張と、彼が現実の状況を認めたがらない事実は、この大統領がマネージャーとしても、人間としても、「欠陥品」であることを示すものだ」と、彼は言った。・・・

「ゼレンスキーに対して何かがなされねばならない。私はそれを繰り返し主張している」と彼は言った。「団結せよ、誰かがイニシアティブを示さねばならない。何らかの条件が[この大統領のために] 提出されねばならない」と、ソスキンはウクライナ国会議員団に向けて発言した。・・・

[訳者 Greatchain 注]

これも我々の知らされている事実とは全く違う。この3つの海外情報は、我々に何かを気づかせるメッセージになっていないだろうか？ それらすべては共通している。どのように共通しているかという点、前に触れた、わが国で起こった、プーチンを呪い殺すための「丑の刻参り」に共通している。丑の刻参りの何が悪いかと言えば、憎しみに凝り固まってモノが見えなくなることである。それが今、あらゆる場面で起こっている。神罰や仏罰が問題なのではない。我々の生きる世界は、自分の世界を少しでも広く切り開くようにできている。自分を閉じることは自殺につながる。これが今、現実起こっていないか？ そして3つの話は、三題噺のように繋がらないだろうか？ 呪うのはプーチンでも誰でもよかった。たまたまプーチンが憎まれて、その世界的な覚醒の役目を担うことになったと思われる。